

# 標準様式

# 目 次

## 1. 精度管理表

様式第 1—1	基準点測量精度管理表 その 1	130
様式第 1—1—1	基準点測量精度管理表 その 1—2	131
様式第 1—1—2	基準点測量精度管理表 その 1—3	132
様式第 1—2	基準点測量精度管理表 その 2	133
様式第 1—3	水準測量精度管理表	134
様式第 1—4	細部測量・地形補備測量・地図編集・数値編集・現地補測・補測編集・ 数値地形図データ作成精度管理表	135
様式第 1—5	測量精度管理表	136
様式第 1—6	縦断測量精度管理表	137
様式第 1—7	横断測量精度管理表	138

## 2. 品質評価表

様式第 2—1	品質評価表（総括表）	140
様式第 2—2	品質評価表（個別表）	141

## 3. 成果等

様式第 3—1	基準点成果表 その 1	144
様式第 3—2	基準点成果表 その 2	145
様式第 3—3	成果数値データファイル標準様式	146
様式第 3—4	基準点現況調査報告書	147
様式第 3—5	測量標設置位置通知書	148
様式第 3—6	測量標新旧位置明細書	149

## 4. 建標承諾書

様式第 4—1	建標承諾書（基準点）	152
様式第 4—2	建標承諾書（水準点）	153

# 1. 精 度 管 理 表



# 基準点測量精度管理表 その1—2

作業名	地区名	計画機関名	作業機関名	作業班長	㊟
目的	期間	作業量	主任技術者		㊟

路線番号	測点番号	路線長	内角数	辺数	点検計算			厳密網平均計算			摘要	
					水平位置		標高	新点位置の標準偏差 (m)	許容範囲	許容範囲		
					閉合差	許容範囲						閉合差

測点番号	点検測量				主要機器名称及び番号						
	距離		離		鉛直		角		永久標識の種類等		
	点検値	採用値	較差	較差	点検値	採用値	較差	較差			
									種類	数量	埋設様式
									特記事項		

用紙の大きさはA4判とする。

# 基準点測量精度管理表 その1—3

作業名	地区名	計画機関名	作業機関名	作業班長	④
目的	期間	作業量	主任技術者		④

路線番号	測点番号	路線長	内角数	辺数	点検計算			厳密網平均計算			摘要	
					水平位置		標高	新点位置の標準偏差 (m)				
					閉合差	許容範囲		閉合差	許容範囲	標高		許容範囲

簡易網平均計算										
測点番号	距離		離		水平		角		鉛	
	点検値	採用値	較差	較差	点検値	採用値	較差	較差	点検値	採用値

  

路線番号	方向角 (")	許容範囲 (")	座標差 (cm)	許容範囲 (cm)	高低差 (cm)	許容範囲 (cm)

用紙の大きさはA4判とする。

# 基準点測量精度管理表 その2

作業名	地区名	計画機関名	作業機関名	作業班長	⑩
目的	期間	作業量	主任技術者		⑩

基線解析辺		仮定三次元網平均				三次元網平均計算		
測点名 自： 至：	辺長 (斜距離)	$\Delta X$ 又は方位角		$\Delta Y$ 又は斜距離		$\Delta Z$ 又は楕円体比高		斜距離の残差
		残差	許容範囲	残差	許容範囲	残差	許容範囲	

新点位置の標準偏差		点検測量					
新点名	水平位置	標準偏差	許容範囲	セッション番号		較差 (dN, dE, dU)	許容範囲
				自：	至：		

用紙の大きさはA4判とする。













## 2. 品質評価表

各測量共通



## 品質評価表 個別表

データ品質適用範囲				
品質要素		品質要求	品質評価方法	品質評価結果
完全性	過剰			
	漏れ			
論理 一貫性	書式一貫性			
	概念一貫性			
	定義域一貫性			
	位相一貫性			
位置 正確度	絶対又は外部 正確度			
	相対又は内部 正確度			
	グリッドデータ位置 正確度			
時間 正確度	時間測定正確度			
	時間一貫性			
	時間妥当性			
主題 正確度	分類の正しさ			
	非定量的属性の 正しさ			
	定量的属性の正 確度			

1. データ品質適用範囲は、品質評価の対象とするデータの内容又は範囲を記述する。

(地物の名称等データの特性や空間的な範囲、時間範囲を指定する。)

2. 品質要求は、製品仕様書に記述されている品質要件の概要を記述する。

3. 品質評価方法は、製品仕様書に記述されている品質評価方法の概要を記述する。

4. 品質評価結果は、品質評価方法に基づいた評価結果を記述する。

用紙の大きさは A4 判とする。





### 3. 成 果 等

基準点成果表 その1

世界測地系（測地成果 2011）  
調製 年 月 日

基準点成果表						
(AREA )						
<hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 80%; margin: 0 auto;"> <span>B</span> <span>X</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 80%; margin: 10px auto;"> <span>L</span> <span>Y</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 80%; margin: 10px auto;"> <span>N</span> <div style="text-align: right;">                     H                      ジオイド高                      柱石長                      縮尺係数                 </div> </div>						
視準点の名称		平均方向角		距離		備考
				m		
埋標型式	地上	地下	屋上	標識 番号	標石 金属標	

用紙の大きさはA4判とする。



# 成果数値データファイル標準様式

レコード長	128 バイト以下を標準とする。
ファイル形式	1 行 1 レコードの MS-DOS テキストファイルとする。
漢字コード	シフト JIS コードとする。

## レコード記述方法

### 記述方法

- ・レコードの先頭には 1 レコードごとにデータ区分を記入する。
- ・項目は「 , 」(カンマ)によって区切るものとする。(カンマセパレート形式)
- ・項目を省略する場合は、「 , , 」とする。
- ・レコードの終わり「 , 」(カンマ)とし改行する。

### 記述内容

#### 1) 説明文

データ区分：Z00 ~ Z02

内 容： 作業内容のコメントを記載する。

00 作業区分：新設、改算による座標変換、改測による座標変換

01 作業年度、作業地域、基準点区分

02 測地系： 0 (世界測地系)、1 (日本測地系)

02 平面直角座標系

#### 2) 開始データ

データ区分： A00 (基準点)、S00 (水準点)

内 容： 成果表データの開始フラッグ

#### 3) データ

データ区分： A01 (基準点)、S01 (水準点)

内 容：点番号、点名称、緯度、経度、X座標、Y座標、座標系、標高、ジオイド高

①点番号：基準点は 5 桁の整数を標準とする。

水準点 1 1 桁の整数を標準とする。

②名 称： 4 0 バイト以下

③緯 度：小数点形式とし秒以下 4 桁とする。(DD° .MM' SS"SSSS )

④経 度：小数点形式とし秒以下 4 桁とする。(DDD° .MM' SS"SSSS)

⑤X座標：小数点形式、m単位としm以下 3 桁までとする。

水準点は、小数点形式、m単位としm以下 1 桁までとする。

⑥Y座標：小数点形式、m単位としm以下 3 桁までとする。

水準点は、小数点形式、m単位としm以下 1 桁までとする。

⑦座標系：平面直角座標系

⑧標 高：小数点形式、m単位としm以下 3 桁までとする。

水準点は、小数点形式、m単位としm以下 4 桁までとする。

⑨ジオイド高：小数点型式、m単位としm以下 3 桁までとする。

#### 4) データの終了

データ区分： A99 (基準点)、S99 (水準点)

内 容： 成果表データの終了フラッグ



測 量 標 設 置 位 置 通 知 書									
級	点		所 在 地	地 目	標 識		設 置 年 月 日	備 考	
	番 号	名 称			種 類	番 号			
			〇〇県〇〇郡〇〇町〇〇字〇〇246-8						

用紙の大きさはA4判とする。

測量標新旧位置明細書													
作業区	級種別	番号・名称	新 旧	所在地	地目	敷地面積	復旧を行った理由	設置年月日	備考				
移転	Ⅲ△	冠(○)○○	新	○○県○○郡○○町○○字○○246-8	○○○		測量標効用保全のため	H 12. 6. 21					
			旧					○○○					
			新										
			旧										
			新										
			旧										
			新										
			旧										
			新										
			旧										
			新										
			旧										

作業区分覧には移転、改埋、再設または廃棄の区分を記載する。  
用紙の大きさはA4判とする。





## 4. 建標承諾書

## 建 標 承 諾 書

平成 年 月 日

殿

所有者 住所

管理者 氏名

印

基 準 点	等 級	名 称	標 識 番 号
	級		

所在地	都道府県	市 郡	町 村	大 字	字	番 地	俗 称	地 目

上記 地内に 級 点の標識を  
設置することを承諾する。

用紙の大きさはA4判とする。

- 注1. この標識は○ ○で設置したもので各種測量の基準となる重要な標識でありますから、動かしたり、破損したり、しないようご注意願います。
2. なお、記載内容は、測量標の利用者が所在地及び所有者を確認するために必要となる測量記録（点の記）に記載されます。
3. 不要の文字は抹消すること。

## 建 標 承 諾 書

平成 年 月 日

殿

所有者 住所

管理者 氏名

印

水 準 点	等 級	名 称	標 識 番 号
	級		

所在地	都道府県	市 郡	町 村	大 字	字	番 地	俗 称	地 目

上記 地内に 級 点の標識を  
設置することを承諾する。

用紙の大きさはA4判とする。

- 注1. この標識は○ ○で設置したもので各種測定の基準となる重要な標識でありますから、動かしたり、破損したり、しないようご注意願います。
2. なお、記載内容は、測量標の利用者が所在地及び所有者を確認するために必要となる測量記録（点の記）に記載されます。
3. 不要の文字は抹消すること。

